

手術となったら

一口に手術と言っても術式は患者さんそれぞれで異なります。従って、麻酔法や入院期間などが変わってきますからここでは、最も一般的なパターンについて述べるにとどめます。

- 1) 外来にてその方に応じた麻酔方法や手術方法を説明します。入院期間についてもこの際に相談しながら大凡の目安を決めてゆきます。通常は腰椎麻酔(下半身麻酔)ないしは局所麻酔と、場合によって術後疼痛緩和のための仙骨硬膜外麻酔を併施します。ただし、重症の痔瘻や何らかの理由で上記のような麻酔法が行えない場合は、全身麻酔で行うことがあります。
- 2) 種類にもよりますが、手術のほとんどは20分から1時間程度で終わります。
- 3) 術後は先述した麻酔を併用したり、他に注射薬や内服薬などで疼痛緩和を図ります。通常、最初の排便があるのは手術から4日後くらいになります。
- 4) 入院期間は手術術式によりケースバイケースです。が、少なくとも過半数の方は手術から1週間前後もしくはそれ以内で退院しております。日帰りや1泊ないし2泊程度の短期で済む場合も少なくありませんが、それはあくまで疾患と術式によって決定されるものであり、本来必要な入院期間を無理に短縮することは誰より患者さんご本人にとってメリットがありません。どのような術式にせよ術後1～2週間は特に大切な期間です。一概に、おしりはあまり創傷治癒の速やかな部位ではありません。